

新

# みけつよい子できる子

新井小学校たより 2月号

平成 30 年 2 月 27 日

H P アドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

## 雪国の冬に思う

校長 川住晴彦

暦の上では春となりましたが、まだまだ厳しい寒さの日があります。日の出が早くなり、日没も遅くなつた昨今、青空や陽光がきらきら輝いて感じられ、うきうきしてくる今日この頃です。

さて、しばらく降雪が続いたときは大変でしたが、今年の新井の雪は平年並みでしょうか。小学生の頃、スキーは冬の楽しみの一つでした。といつても、スキー場に連れて行ってもらった記憶は、あまりなく、もっぱら裏山で滑りました。放課後、家に帰ると近所の仲間(学年と男女は関係なく)とスキーに出かけます。雪をこざいてお目当ての斜面にたどり着きます。みんなで下から雪を踏んで登ります。先頭は大変ですから、上学年が担当します。たいした斜面ではありませんが、大変な思いをして雪踏みをして、上から滑るとほんの数秒で下まで降りてしまいます。それからまた登って滑るを繰り返します。スキーそのものの楽しさもありますが、仲間と一緒に楽しく頑張ったのでしょう。日暮れの早い冬、暗い中を汗びっしょりで家路につくのですが、大満足の毎日でした。

休日は、金谷山スキー場まで行きました。のどかな時代、かつ、冬は道路除雪が悪く、自動車はあまり通っていませんでした。家からスキーを履いたまま道路の端を滑って(歩いて)行けました。ジャンプ台の横のリフト(一人乗りでのんびりしたスピードでした)に乗って上ります。白旗山のリフトに上ると尾根沿いのコースと白旗山の斜面のコースがありました。きつい斜面でしたから、何度も転んでビショビショに濡れます。かじかんで帰る道も楽しかった記憶があります。道中、一人でいろんなことを考える時間でもあったと思います。(ここまで、昔をちょっと懐かしんでしました。)

新井小の1・2年生は、体育でグラウンドでスキーをします。雪国とは言え、学校で初めてスキーを履く子がたくさんいます。支度をしてスキー靴を履き、スキーとストックをもってグラウンドに出て……。これだけでも大変な作業です。そんな時に助けていただいているのが、妙高市の「子縁ボランティア」のみなさんです。1年生のスキー授業に来てください、子どものスキーの着脱などのお世話をしてください。支度が整って滑り(歩き)始めますが、あの長くて重いスキーを操るのはたやすいことではありません。晴天ばかりではありません。雪の降る中での授業もあります。我慢して頑張らなくてはならない場面です。一度スタートしたら、コースを回って最後まで来なければ終わりません。一人一人の力量は違いますから、中には、べそをかいたりヤケを起こしたりする子もいます。そんな時、すぐに助けは出せません。本当に助けが必要なときは別として、自分の力で乗り越えなくてはなりません。人によってペースは違つても、最後まで自分の力でやり抜く心と態度を身に付けてほしいと思います。

新井小の3年生から6年生は、赤倉と池の平でスキー教室を行います。スキースクールの先生、NPO のボランティア、保護者・地域ボランティアのみなさんの指導で、一日たっぷりと滑ります。グループ全員でリフトに乗って上に行きますから、あとは自力で下りてくるしかありません。もちろん「大変だ。」と思っている子もいることでしょう。これも仲間と一緒に頑張るのでしょう。学年が上がるにしたがつて、上手になっていることを実感します。

雪は生活を不便にすることもありますが、楽しんだり頑張る力をくれたりする雪国ならではのものです。残り少ない冬、新井っ子には、グラウンドでの雪遊びなどで楽しんでほしいと思います。



「教育活動に関するアンケート」集計結果(平成29年12月実施)について  
2学期末に、保護者の皆様から「教育活動に関するアンケート」にご協力いただきました。また、児童アンケートも実施しました。

それぞれの結果は、以下の通りです。数値は、肯定的な回答の割合を表しています。また、1学期と2学期の変化を比較するために、増減を明示しました。また、アンケートの自由記述に関する回答等も一部記載しました。

今回の集計結果を今後の教育活動に生かしていきます。特に、「学校が楽しい。」「授業が分かる。」などの項目は、記名式ですので、肯定的でなかった子どもに目を向けて、しっかりと対応していきたいと思います。

今後とも、当校の教育活動に、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

### <児童アンケート結果>

No.	項目	前期 (%)	後期 (%)	増減 (ポイント)
1	学校が楽しいですか。	92	92	0
2	授業が分かりますか。	89	91	+2
3	授業に真剣に取り組んでいますか。	90	93	+3
4	家庭学習を頑張っていますか。	86	85	-1
5	授業中、自分の意見を進んで話しましたか。	70	72	+2
6	友達や先生、学校に来られたお客様、地域の人に進んで挨拶をしましたか。	88	88	0
7	友達に、よくないことは「よくない」と言いましたか。	76	73	-3
8	相手の気持ちを考えて、力を合わせて活動していますか。	94	90	-4
9	学校では、正しい言葉遣いで話をしていますか。	86	88	+2
10	使ったボールや遊び道具など、後片付けをきちんとしていますか。	96	97	+1
11	自分の行動を振り返り、次のめあてをもちましたか。	85	87	+2
12	めあてに向かって、進んで運動をしていますか。	84	87	+3
13	「早寝・朝起き」をしていますか。	80	76	-4
14	朝ごはんを食べていますか。	96	95	-1
15	新井・妙高のよさを知っていますか。	81	84	+3
16	将来に夢や目標がありますか。	88	87	-1

<保護者アンケート結果>

No.	項目	前期 (%)	後期 (%)	増減 (ポイント)
1	お子さんは、学校生活を楽しいと感じていますか。	9 5	9 4	- 1
2	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っていますか。	8 5	8 7	+ 2
3	お子さんは、授業の内容をほぼ理解していると思われますか。	7 4	7 8	+ 4
4	お子さんは、自分の意見や考えを話せるようになっていますか。	7 4	7 4	0
5	お子さんは、正しい言葉遣いをしていますか。	5 7	6 1	+ 4
6	お子さんは、特定の人だけでなく、男女を問わず誰とでも仲良く過ごそうとしていますか。	8 6	8 6	0
7	お子さんは、いやなことや困ったことがあったときに、相手に伝えた り誰かに相談したりして、自分から解決しようとしていますか。	7 2	7 5	+ 3
8	お子さんは、学校での出来事をご家庭で話していますか。	8 5	8 5	0
9	お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか。	7 6	7 8	+ 2
10	お子さんは、家でよく読書をしていますか。	3 9	4 0	+ 1
11	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣が身に付いていますか。	7 1	7 2	+ 1
12	お子さんは、家庭で決めたテレビやゲームの視聴時間のルールを守っていますか。	6 3	6 2	- 1
13	お子さんは、進んで外遊びや運動をしていますか。	7 7	7 0	- 7
14	お子さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	6 6	6 8	+ 2
15	お子さんは、地域での過ごし方や社会のルールを守って生活していますか。	9 5	9 4	- 1
16	お子さんと、将来について話し合っていますか。	5 9	6 4	+ 5
17	保護者の皆様は、お子さんの学習や生活の様子を見て、ほめていますか。	8 4	8 3	- 1
18	学校・学年だより、面談・相談、連絡帳等を通して、学習や学校行事 でのお子さんの様子を知ることができますか。	9 4	9 6	+ 2
19	学校は、お子さんや保護者の悩み事等を相談しやすい環境を整えて いると思いますか。	8 9	9 3	+ 4
20	教職員は、児童に適切に対応していますか。（教える、褒める、叱る など）	9 5	9 6	+ 1
21	教職員は、保護者に対して丁寧に接していますか。	9 8	9 8	0

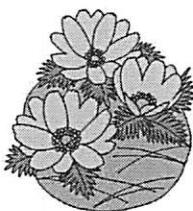
## <アンケート項目の結果から>

前期と後期の児童アンケートの結果を比較すると、No.11「自分の行動を振り返り、次のめあてをもちましたか。」の項目が、2ポイント増となりました。昨年度の結果では、7ポイント減となった項目でしたが、今年度は、比較ポイントが大きく伸びました。子ども自身が、年間を通してめあてを意識して次の活動に生かすことができたと、実感することができたと言えます。

また、No.2「授業がわかる」、No.3「授業に真剣に取り組んでいる」、No.5「授業中、自分の意見を進んで話した」もポイント増となり、学習への取組が一層充実したことが言えます。

保護者アンケートでは、半数以上の項目でポイントが増加したとともに、肯定的評価の中でも「はつきりはい」という評価が増えました。子どもや職員の姿を保護者の皆様からも高く評価していただいた結果だと思います。

一方で、前期の課題として挙げた「言葉遣い」「読書」「あいさつ」「テレビやゲームの時間」については、肯定的な評価の割合が多くありません。学校では、「あらいっ子週間」を年に3回設け、家庭と連携しながら「読書」や「テレビやゲームの時間」について取組を進めたり、パワーアップルールとして「あいさつ」に重点を置いて取り組んだりしてきました。また、日頃から「時と場と状況に応じた話し方の指導と確実な習得」がされるように職員も取り組んでいます。子どものよりよい成長のために、今後も家庭や地域でも一緒に取り組んでいただきたいと思います。そして、子どもの成長が実感できるよう、様々な方策と一緒に考えていっていただければと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



## <自由記述から（一部）>

### 〈若竹フェスティバルについて〉

- ・わかつたけフェスティバルで絵の展示がありましたが、工作や書写などの作品があれば見てみたいです。
- ・若竹フェスティバル、どの学年もすごく上手に演奏、発表できていました。でも、展示してあるのが絵1枚だけだったのは残念でした。お昼を食べたあとは見るものも絵1枚だけで、時間をもてあましました。文化祭というより音楽祭ですよね。学習参観のときはなかなか仕事が休めず行けないので、若竹フェスティバルのときにもっと子どもたちの作った作品などを展示してもらいたいと思いました。午後の活動も親と子どもと一緒に体験出来るものだといいなと思いました。
- ・絵だけの展示で物足りなさを感じました。個別懇談で見ることはできましたが、祖父母等は見る機会がなくなると思います。
- ・今回、若竹フェスティバルの作品展が絵だけということで、作品を楽しみに見に来た親や祖父母としてはとても残念に思いました。個別懇談の時に作品が展示していましたが、個別懇談に行った人しか見られないというのも少し残念です。子どもと作品を見ながら感想を言い合うのも大切なふれあいだと思います。いろいろな面で配慮したことだというのは分かるのですが、子どもたちの作品が絵だけというのは少しさびしき感じました。
- ・若竹フェスティバル、図工の作品やクラブ活動の様子など展示してあればよいと思います。
- ・若竹フェスティバルの作品展で、絵画のみだったのが残念でした。書道作品や工作、家庭科作品などの展示もあるとよいと思いました。（休憩時間も長かったので色々な学年の作品を見たかったです。）
- ・学校として先生や子どもたちの接する時間を多くもたせようという考えは分かりますが、若竹フェスティバルでの大きなステージで発表する姿はすごいと思いますが他校と違って文化祭ではないと思います。やっぱり少しさびしい気持ちがあります。

⇒ 昨年度に回答させていただいた内容も含めて、回答いたします。

これは、コスト（「時数」と「指導」と「準備」）の問題、特に、授業時数に基づいています。

当校の「若竹フェスティバル」は、現在、「音楽発表会」と「作品展示」と「体験活動」の3つを一緒にしたものとなっています。この内容を1日に集約するためには、かなりのコストをかけています。あの出来映えで子どもがステージで音楽発表できるようにするために、校内での練習、文化ホールステージを借りての練習、全学年でのリハーサルなどにどれだけのコストをかけているか参観していただきたいくらいです。これは、音楽の時間と学級活動の時間を中心に、表現のために国語の時間を使っています。

図工は、平成14年度の学習指導要領により、それまでから20時間減って、年間50～70時間となっています。例えば、6年生の年間授業時数は、50時間です。うち、絵画の時数は、最大で18時間です。年間指導計画に基づいて、1学期にも絵を描きます。3学期は、版画があります。若竹フェスティバルで展示する作品

づくりは、学年にもよりますが、下絵から色塗り、展示できるように準備するまでに10数時間要します。子ども一人一人、作品を完成させるまでに進度も異なりますから、展示するためには、それなりの時数を費やさなくてはならないのです。

図工の授業時数が15年も前に減ったにもかかわらず、同じように作品展示をしてきたことに無理があつたのです。繰り返しますが、若竹フェスティバルに向けて、絵画と工作、音楽発表を仕上げることは容易ではありません。今回は、フェスティバル後にじっくり工作に取り組むことができました。

若竹フェスティバルは、確かに日頃の教育活動の成果をご覧いただく機会の一つではあります。しかし、あれもこれも見ていただくために、国語や算数をはじめとした学習がおろそかになるとしたら、それは、本末転倒だと考えています。

書き初めは、書き初め展があります。2月には版画展も開いています。ご都合をつけて、ご覧いただけたいと思います。もちろん、祖父母の皆さんも大歓迎です。

### 〈学習・授業参観等について〉

・授業がとても分かりやすく一つ一つ納得のいく内容だと子どもから聞いています。宿題は今までのドリルのみではなく、文章を書くものが多く、文章力のない子どもなのでとても助かっています。

・なかなかできない子にできるように教えるのは根気のいる大変なことだと思います。それでも「できるようになりたい」と本人なりにがんばっています。ご指導よろしくお願ひします。

⇒ 子どもたちに声をかけながら、一緒に頑張っていきます。ありがとうございます。

・スキー授業ですが、アルペンスキーは1日だけになります。人数も多くて大変だとわかってはおりますが、回数を増やすのは難しいのでしょうか？家庭でもなるべく連れて行ってあげたいと思っておりますが、お友達と一緒に頑張ると上達も早いように思います。せめて2回あると良いなと思います。ボランティア行きます。

⇒ 終日スキーフィールドにて活動することにより、6時間の体育時数だけでなく、事前の計画、下見、打ち合わせ、ボランティア説明会、スキーフィールドの確保、準備、後片付け等、様々な時間を活用しています。体育の時数としては、学習指導要領と指導計画に沿った丁度よい時数だと思っています。また、それぞれの学年スキーの指導をしていただいているNPOやスキースクールへの謝金も必要です。したがいまして、時間、時数、予算の関係から、現時点では日数を増やすことは難しい状況です。

ただし、地域の環境を更に生かすという面から、これらの課題を解決していく方向であれば、回数の増加について検討する価値があると考えます。これも、よいアイデアがあったらお知らせください。

### 〈課外活動について〉

・課外活動について、体育部の活動が少ないという意見が出ているようですが、逆に、合唱・吹奏楽が多い気がします。夏の大会は出場校も少なく、あまりモチベーションが上がらず、毎日の練習は大変そうでした。12月初めまでというのも日が短くなる中、17時の帰宅は心配でした。体育部とこれほど差があると勉強面(宿題など)でも差が出そうで心配です。

⇒ ご指摘いただいたことは、新井小学校だけの問題ではありません。中学校の部活動の在り方が話題になっていますが、同様に、「小学校の課外活動はどうあるべきか」が、今、しっかりとと考え、改善していくべき事の一つです。

新潟県内には、469校の小学校があります。合唱のコンクールは、4校出場しています。吹奏楽の大会は、2校だけです。また、新潟県内には、21の小学校体育連盟（小体連）があります。そのうち、陸上大会21、水泳大会11、選択種目（スキーフィールド、バスケットボール）という大会実施の状況があります。特に、中越と下越は、課外活動からどんどん撤退しています。

また、年間を通じて課外活動をしている学校は減少し、陸上大会や音楽発表会などに向けて、その時期に特定の学年が活動をする、いわゆる「特設課外活動」としている学校が増えています。

学校外での活動が多種多様になっていることも、このことを考える要素の一つです。新井小学校でも、放課後や休日に学習塾や習い事、野球、サッカーをはじめとした社会体育に取り組んでいる子どもがいます。そのような活動が少なかった昔は、小学校での課外活動は、大事な教育活動の一つでしたが、今、小学校が本来何をするべきなのかを考えなくてはならない時なのです。

ご指摘いただいたとおり、子どもに必要な学力を付けるために授業の準備をしたり、様々な支援を必要とする子どもに対して教師がしっかりと寄り添えるゆとりを確保したりする、学校が本来力を入れなくてはならないことにシフトすることが、最も大事なことだと考えています。もちろん、小学校の授業時数が、3年生以上で週1時間増えることにも対応しなくてはなりません。

このような状況の中で、新井小学校としては、その果たす役割や意義を尊重し、「課外活動」を来年度も継続します。しかし、これまで練習量の適正化を図ってきましたが、今後、目指す大会やコンクールを精査する必要があると考えています。詳しくは、3月6日（火）に説明の時間を設けます。

いずれにしても、「伝統だから」の言葉で継続していけるものとそうでないものがあるのです。すべての学校に「伝統」があるのです。その上で、各学校の課題に対応するために改善していくことが必要です。そして、これらのこととは、学校が決めることだということを理解していただきます。

・吹奏楽部の管楽器フェスティバルを見られた方（地域の方）から、素晴らしいと言葉をいただきました。新井小の伝統ですからね。木管もできる学校はないですからね。学校で活動できることにありがとうございます。教育長からのお便りの中で、小学校の部活動についてお考えが書かれていましたが、学校から地域へという方向性は十分わかります。が、平日の夜に活動が増えることには十分、検討してほしいと思います。今でさえ、早寝早起き等、推進しているのにもかかわらず、21:30まで活動し、寝るのは22:30～23:00の児童が多いですよね。宿題も翌日、学校でやっている児童もいることを聞きます。先生は、注意しないともききます。1限から、あくび。そして経済的にもゆとりのあるご家庭だけ活動できるわけですよね。十分検討していただきたいと思います。

⇒ 自転車事故、SNSのトラブルも同様ですが、習い事に通わせることそしてその結果生まれる成果や問題については保護者の判断であり責任となります。お子さんが毎日健やかで学習に集中できる環境を整えることは学校と家庭の重要な責務と考えます。

学校では今年度から部活動を原則週2回とし、お子さんが宿題や家庭生活にゆとりをもって対応できるようにしています。生み出されたその時間をどのように使うことがお子さんにとって有益なのかは、それぞれのご家庭でお考えください。

## 〈その他〉

・秋の交通安全週間についての要望です。スクールバス地区のため、区長さんがバス停までおいでくださつて子どもたちに声がけしてくださいます。今年は陸上大会のため、通常より早いバス時刻が二日間ありましたが、その連絡が区長さんになかったため、忙しい中、わざわざおいでくださったのに、子どもたちがいないという状況になってしまいました。区長さんあての文書に一言あるべきだと思いました。

⇒ 学校からは、秋の交通安全週間の依頼は出しません。それぞれの地域がどのように対応しているかを把握していないからです。

子どもたちへの善意としておいでくださっていることは、大変ありがとうございます。スクールバスの運行表は、各家庭に1か月ごとに配布していますから、それぞれの地域で情報交換をしていただければありがたいです。つまり、各地域でお願いしたいということです。

・9月1日は祭りがあり、早退させていただいている地域がありました。今年度は4年生の校外学習があり、子どもがそちらに参加したいと言ったため、祭りに参加できなかつたそうです。子どもの気持ちはよく分かりますが、さびしい祭りだったそうです。合併の時に、当時教育委員会にいらした川上先生より、それぞれの地域の行事は大切にすると話していただいていたので、残念に感じました。子どもが参加する地域の祭りなどと大きな行事は重ねないよう配慮願えないでしょうか。

⇒ 校外学習は、見学する施設やバスの関係で4月に予約しており、急な変更はなかなか難しい場合があります。学校としては地域の行事は大切にしたいと考えていますので、可能であれば年度初めにお知らせいただけるとありがたいです。

・メディアコントロールは、2時間までですが、ニュースを見るることもできず困ります。子どもが見るテレビ、ゲームのみ2時間までにする。では、ダメなのでしょうか。祖父母のいる家庭では難しいのではないでしょうか。メディアコントロールでテレビを見る時間が減り、ストレスになっています。終わったときは、反動でテレビを見てしまいます。メディアをコントロールして、他のことをすることも大事なことだと思いますが、平日は日ごろからメディア時間もとませんが、休日のメディアコントロールは家族のストレスにもなります。

⇒ 家族で見るニュースなどは、2時間に入れないことになっていますが、十分に理解されていないことがわかりました。次回の「あらいっこ週間」の際には、ほけんだよりで説明を加えたいと思います。お知らせありがとうございます。

大事なことは、それぞれの家庭にそれぞれの事情があることを分かった上で、この取組が無理なく、しかし、子どもに身に付くように「我が家の取組」にしていただくことだと思います。子どもと家庭の実態に応じて、それぞれのご家庭でお考えいただきたいと思います。